

和歌山県出土の銅鐸形土製品について

仲原知之（和歌山県立紀伊風土記の丘）

1. 銅鐸形土製品について

- ◇銅鐸を模倣した土製品（朝鮮式小銅鐸を模倣したものも含む）
- ◇銅鐸の形態や文様などを忠実に模倣したものや大幅にデフォルメされたものもある
- ◇全国で200点以上出土 → 銅鐸が多く出土する近畿・東海で多く出土する
（ただし銅鐸が多く出土する滋賀県・和歌山県・徳島県の出土例は少ない）
- ◇溝・流路・井戸など水に関連する遺構から出土する例が半数を占める
- ◇その地域の拠点的な集落からの出土例が多い
- ◇銅鐸出土遺跡や銅鐸製作遺跡からの出土例がある（銅鐸と共伴して出土した例はない）
- ◇大阪や奈良などの集落で分銅形土製品（瀬戸内系の祭祀遺物）と共存する例がある

2. 銅鐸形土製品の性格

- 【諸説】 水に関連する遺構から出土することが多い → 水に関連した祭祀
 竪穴住居や掘立柱建物からの出土がある → 地鎮などの祭祀
 銅鐸を完全に模倣したものはない → 銅鐸祭祀から派生した日常的・私的な祭祀
 銅鐸製作集落から出土する例がある → 銅鐸鑄造に関連する祭祀

3. 和歌山県出土の銅鐸形土製品について

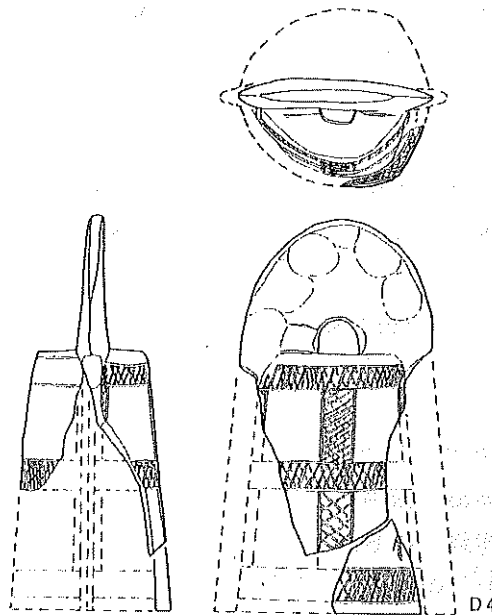
- 4遺跡5点出土
- 岡村遺跡（海南市）2点
 - 亀川遺跡（海南市）
 - 血縄遺跡（橋本市）
 - 西飯降Ⅱ遺跡（かつらぎ町）

【参考文献】

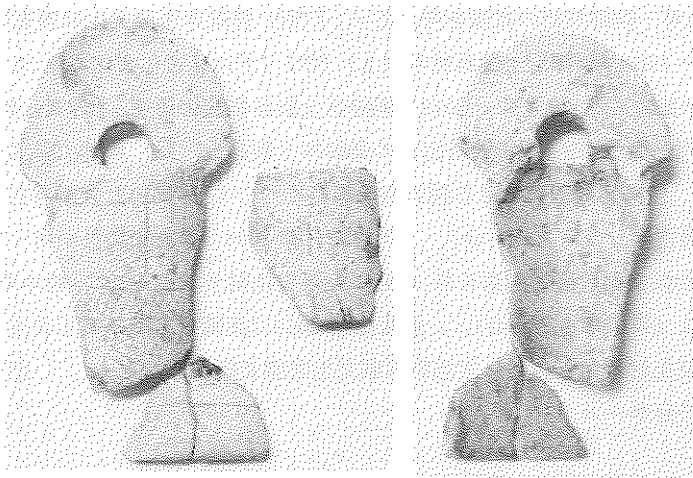
大野勝美 2004「銅鐸形土製品考—銅鐸祭祀の東限を考える—」『(財) 静岡県埋蔵文化財調査研究所設立20周年記念論文集』、神尾恵一 1984「銅鐸形土製品試考(上)(中)(下)」『古代文化』第36巻第5号・第10号・第11号((財) 古代学協会)、神尾恵一 2012「銅鐸形土製品祭祀の研究」『古文化談叢』第67集(九州古文化研究会)、河内一浩 1989「岡村遺跡出土の銅鐸形土製品」『(財) 和歌山県文化財センター年報1988』、木村有作 1994「伊勢湾周辺における銅鐸形土製品について」『同志社大学考古学シリーズVI 考古学と信仰』(同志社大学考古学シリーズ刊行会)、角南聡一郎 1993「祭祀土製品小考—亀井遺跡出土の分銅形土製品・新例—」『大阪文化財研究』第5号((財) 大阪文化財センター)、野本孝明 1984「銅鐸形土製品考」『東京考古』2(東京考古談話会)、肥後弘幸 2010「長岡京市調子2丁目出土の銅鐸形土製品について」『京都府埋蔵文化財情報』((財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター)、肥後弘幸編「銅鐸形土製品集成」(近畿弥生の会ホームページ)

〈岡村遺跡〉（海南市）

- ①昭和 63 年度調査（県）、溝 SD19 最上層出土 弥生時代中期後葉
- ②復元高 10.4cm（鈕高 3.5cm）、復元幅 6.2cm、復元奥行 5.2cm（舞復元奥行 3.0cm）
- ③中空、鈕は無文、鏽一部残存、舞の型持孔は 1 孔、内面凸帯なし、胎土に片岩、
3 片に分かれるが接合せず
- ④文様：4 区袈裟襷文、身の一部に線刻あり？
- ⑤（財）和歌山県文化財センター1990『岡村遺跡発掘調査報告書—亀の川中小河川改修工事に伴う発掘調査—』
河内一浩 1989「岡村遺跡出土の銅鐸形土製品」『（財）和歌山県文化財センター年報 1988』

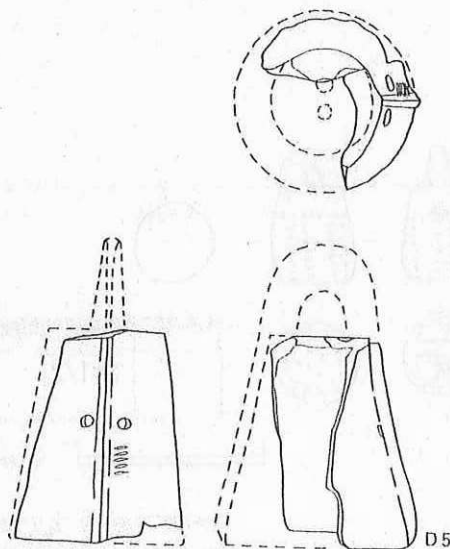


S=1/2

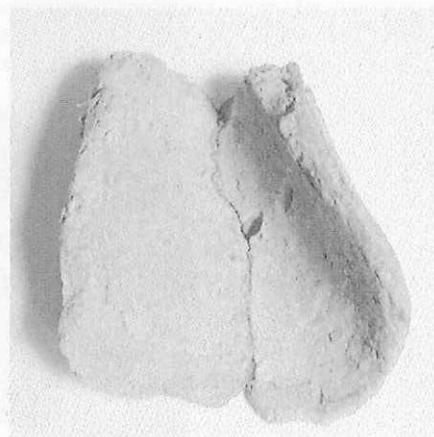
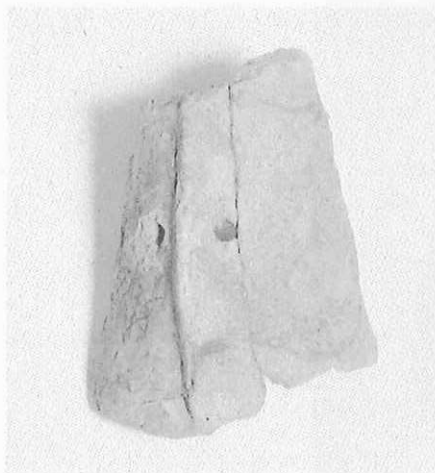


〈岡村遺跡〉（海南市）

- ①昭和 63 年度調査（県） 溝 SD19 最下層出土 弥生時代中期後葉
- ②残存高 5.9cm、幅 4.0cm、奥行 4.8cm（復元幅 5.2cm、奥行 5.0cm）、舞復元奥行 2.4cm
- ③中空、鈕は欠損、緒あり（無文か）、舞に型持孔 1 孔残存（もとは 2 孔か？）、
緒付近に型持孔 2 孔（焼成前穿孔）、内面凸帯なし、胎土に片岩
- ④文様：身の緒付近に横方向の線刻あり（一部縦の線刻か）、身の一部に線刻？
- ⑤（財）和歌山県文化財センター1990『岡村遺跡発掘調査報告書—亀の川中小河川改修工事に伴う発掘調査—』
河内一浩 1989「岡村遺跡出土の銅鐸形土製品」『（財）和歌山県文化財センター年報 1988』

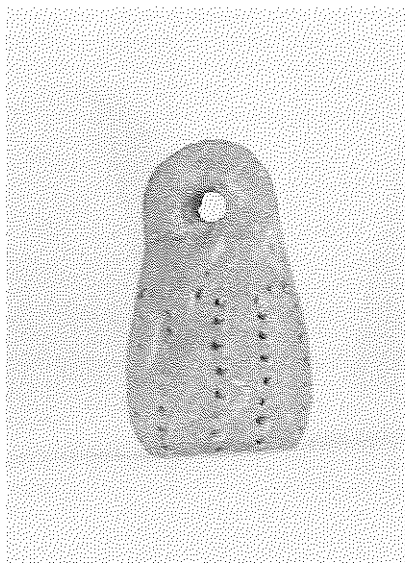
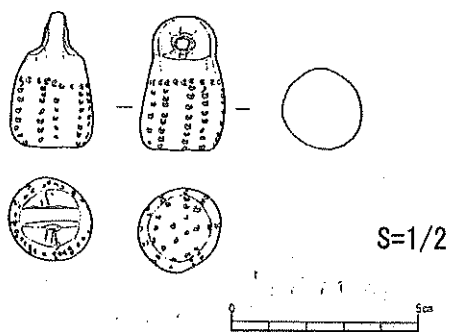


S=1/2



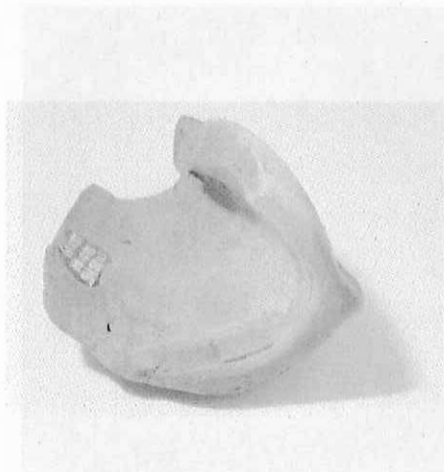
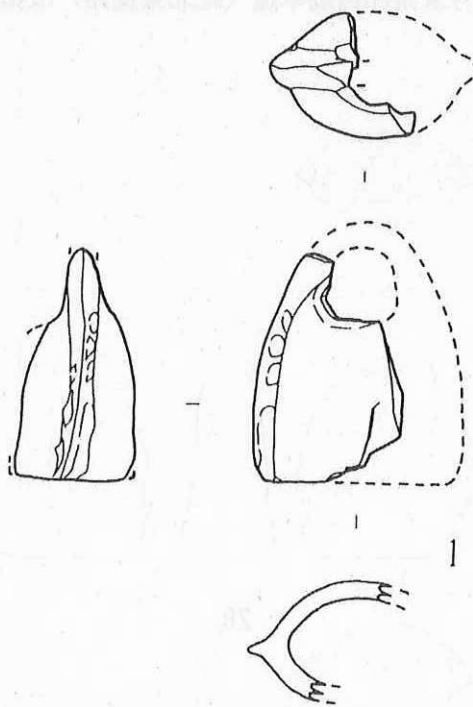
< 亀川遺跡 > (海南市)

- ①溝 SD54 出土 弥生時代後期
- ②高 3.55cm、幅 2.25cm、奥行 2.1cm、鈕高 1.1cm
- ③完形品、中実、小形(分銅形)、鈕あり、舞の表現ほとんどなし、型持孔なし
- ④文様：C字状刺突文を上端に横方向1条と体部に縦方向6条(2条1単位、底部に続く)
- ⑤海南市文化財調査研究会・海南市教育委員会 1985『亀川遺跡Ⅴ』



〈血縄遺跡〉（橋本市）

- ①溝 SD01 出土 弥生時代中期後葉
- ②残存高 5.9cm、残存幅 4.0cm、奥行 3.3cm（復元高 6.4cm）、身の高さ 4.2cm
- ③中空、鈕あり（上部欠損）、釦あり（無文）、舞の表現ほとんどなし、型持孔なし、
内面下端部に突帯貼り付け、外面タテミガキ調整、胎土の砂粒細かい（片岩なし?）
- ④文様：無文
- ⑤橋本市教育委員会 1986『血縄遺跡発掘調査概報』



＜西飯降Ⅱ遺跡＞（かつらぎ町）

- ①溝 SD5400 上層出土 弥生時代中期後葉～後期
- ②残存高 5.25cm（復元高 6.5cm）、幅 4.8cm、奥行 2.4cm、身の高さ 4.8cm
- ③体部に径 0.8cm の貫通しない穿孔（棒状のものに粘土を巻き付けて制作か）、鈕下端の一部残存、鱗あり（無文）、舞の表現ほとんどなし、外面タテミガキ、型持孔なし、胎土の砂粒細かい（片岩不明）
- ④文様：無文
- ⑤（財）和歌山県文化財センター2012『中飯降遺跡・西飯降Ⅱ遺跡・加陀寺前経塚・大谷遺跡・重行遺跡—一般国道 24 号京奈和自動車道（紀北東道路）改築工事に伴う第 2 次～第 7 次発掘調査報告書—』

